# 名古屋大学≪工学研究科・教授または准教授≫公募要領

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 募集件名 | 教授または准教授の公募 | |
| 2 | 募集者の名称 | 国立大学法人東海国立大学機構 | |
| 3 | 所属 | 名古屋大学大学院工学研究科 物質科学専攻 物質デバイス機能創成学講座 | |
| 4 | 募集内容 | [職務内容（業務内容、担当科目等)]<br>（雇入れ直後）<br>・物理工学に立脚した物質科学の新しいフロンティアの開拓を目指し、新物質・新材料の創成やその新規デバイス応用等に関する研究においてグローバルな研究を推進できる方。特に、超伝導材料、磁性体、熱電材料、低次元ナノ材料、トポロジカル物質やその他、強相関電子系など、学術的あるいは産業的に有用と期待される物質の量子物性の解明や新機能の開拓、量子物理学に基づいた機能性材料の工学応用に関する研究分野を想定します。<br>・関連する研究分野を開拓、牽引する気概に富み、本専攻や本研究科のさらなる発展に貢献できる人物を求めます。また、熱意と責任をもって研究グループを主宰できる能力を有し、大学院および学部の教育に携わるとともに、協調性をもって大学組織の管理運営に当たれる人物を望みます。<br>・工学研究科・物質科学専攻および工学部・物理工学科（兼務）などの講義、セミナーなどを担当いただきます。<br>（変更の範囲）<br>・東海国立大学機構が指定する業務 | |
| | | [勤務地]<br>（雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区<br>（変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所 | |
| | | [募集人員]　教授または准教授・1名 | |
| | | [着任時期]　令和9年8月1日あるいはできるだけ早期 | |
| 5 | 募集研究分野 | 大分類 | ナノテク・材料、エネルギー、ものづくり技術 |
| | | 小分類 | ― |
| 6 | 勤務形態 | 常勤<br>契約期間：期間の定めなし<br>試用期間：あり（採用日から6か月） | |
| 7 | 応募資格 | [必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]<br>・博士学位を有している者<br>・物質科学分野あるいは応用物理学分野に精通している者<br>・大学院および学部における教育・研究に熱意と責任感を持ち、協調性をもってあたれる者 | |
| 8 | 待遇 | [採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）]<br>・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。<br>https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html<br>・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸 | |

| | | |
|---|---|---|
| | | 制とする。<br>https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html<br>・専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなされる。<br>・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）<br>・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険<br>・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止 |
| 9 | 応募期間 | 令和 8 年 11 月 6 日　～　令和 9 年 1 月 8 日 |
| 10 | 応募・選考結果通知連絡先 | [応募方法（提出書類の送付先）]<br>（1） 履歴書（写真貼付）<br>（2） 研究業績リスト（査読付き学術論文・国際会議プロシーディングス、総説・解説、著書、招待講演、特許、受賞などに分類。主要業績 5 編を〇印で示す。）<br>（3） 主要論文別刷（5 編以内）<br>（4） これまでの研究の概要（2 ページ以内）<br>（5） 今後の研究計画・教育についての抱負（2 ページ以内）<br>（6） 外部資金の獲得状況とその他特記事項<br>（7） 意見を求め得る方 2 名の氏名と連絡先<br>上記（1）～（7）の書類を一つの PDF ファイルにまとめて、応募期間内（必着）に、JREC-IN ポータルウェブにて応募下さい。<br>*全学人事プロセス委員会承認後、JREC-IN にて公開後に URL を掲載<br>※内容を確認後、応募書類受領の連絡をいたします。<br>※JREC-IN ポータルウェブによる応募を原則とします。何らかの事情により同ウェブからの応募困難な場合は郵送でも受け付けます。郵送の場合は、提出書類各 1 部およびそれらを 1 つにまとめた PDF ファイルを保存した電子媒体(USB メモリ等)を封筒に入れ、「物質科学専攻教員応募書類在中」と朱書きの上、応募期間内（必着）に、簡易書留で以下の住所に郵送してください。<br>〒464-8601 名古屋市千種区不老町<br>名古屋大学大学院 工学研究科 物質科学専攻 専攻長・松山 智至<br>電話：052-789-4683<br>[選考内容（選考方法、採否の決定）]<br>・書類選考の上、面接を実施。<br>・面接実施者については、事前に電子メールで連絡を行う。 |
| 11 | その他 | ・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。<br>・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。<br>・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。<br>・面接に要する交通費は支給しません。<br>・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。<br>ジェンダーダイバーシティセンター―Web サイト：<br>https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/<br>ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロンギング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言：<br>https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html<br>・本学では、県外から本学への応募又は着任を検討している研究者・教員を対象に、地域情報並びに配偶者・パートナー等の就業及びキャリア形成に関する情報提供や相談対応等を行う「パートナー帯同プログラム」を実施しています。<br>詳細は下記をご覧ください。<br>https://valueglow.jp/relocation/participant/portal.html?univ=nagoya_u<br>・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。<br>・本学は、採用選考、就職説明会、インターンシップ、教育実習その他の求職活動等において、求職者等に対するセクシュアル・ハラスメントを防止するための取組を行っています。採用担当者等による性的な言動その他の不適切な行為があった場合は、下記相談窓口へご相談ください。相談したことを理由として不利益な取扱いを受けることはありません。<br>ハラスメント相談センター　https://www.sh-help.provost.nagoya-u.ac.jp/ |